

デンチャーフィットチェック

義歯床適合診査材

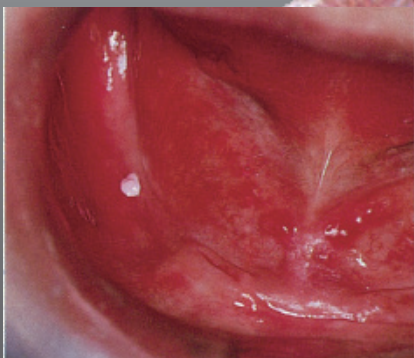
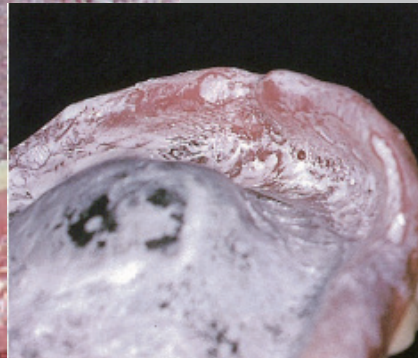
デンチャースポットチェック

義歯床過圧部診査材

マトを射た義歯適合チェックに

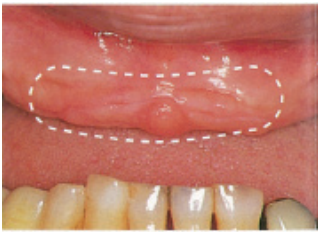


Part



Spot

褥瘡などの位置を特定



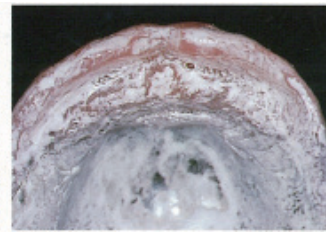
1. 患者口腔内

顎堤上部にフラビーガムが発症しています。



2. 義歯床への塗布

義歯床粘膜面にデンチャーフィットチェックを均一に塗布します。



3. 診査（フラビーガム）

フラビーガムがあたっている部位（つぶれています）は調整する必要があります。



1. 患者口腔内

顎堤上部にフラビーガムが発症しています。



2. 義歯床への塗布

回転の場合は通常の圧接による診査とともに、強く噛んだ状態の診査も必要です。



3. 診査（義歯回転）

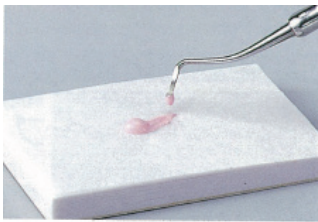
経時的な経過を診査することで、回転原因の特定が容易になります。

正確にクイックに位置を印記

デンチャースポットチェックは、粘膜面に発症した潰瘍や骨先鋭部などの位置の確認に最適です。粘膜面の特定位置にインスツルメントで少量貼布して義歯を圧接するだけで、義歯床粘膜面に確認したい位置が正確に印記されます。

衛生的で清掃も簡単

きわめて衛生的で刺激も一切ありません。また、診査後の清掃は水洗で簡単に行えます。



デンチャースポットチェック

1 函＝デンチャースポットチェック 2.5g (3.75mL) 1 本、練和紙 (No.14)
1 冊 一般医療機器 23B2X00038000016

■潰瘍の特定



1. 口腔内粘膜面

義歯を口腔内に圧接すると、潰瘍部に貼付したデンチャースポットチェックが義歯粘膜面に明確に印記されます。



2. 義歯床粘膜面

褥瘡性潰瘍部にインスツルメントが患部に触らないように注意してデンチャースポットチェックを貼付します。

Fit check&Spot check

義歯床のあたりと床過圧部のスポットを総合的に判断します。

高齢化とともに義歯適合チェックの機会が増えています。

デンチャーチェックは、義歯の適合状態をチェックする「デンチャーフィットチェック」と、潰瘍部の位置を確認する「デンチャースポットチェック」をコンビネーションにした義歯適合試験材です。

Denture Fit Check デンチャーフィットチェック

練和不要。義歯床と粘膜の適合性が短時間で確認できます。



デンチャーフィットチェック

1 函=デンチャーフィットチェック 40g (52mL) 1 本、塗布用スポンジ大・小各 30 個一般医療機器 23B2X00038000017

義歯床下粘膜のあたりを短時間で把握

デンチャーフィットチェックは非硬化型なので塗布後すぐに確認作業に移れます。粘膜圧接時に被圧変位がなく、日常の装着時と同じ状態での接触部位の確認ができます。(塗布した義歯を口腔内に圧接して、塗布面の模様がつぶれたり、抜けていることによってタッチの程度が確認できます。)

確認と調整の繰り返し使用が容易

デンチャーフィットチェックは、塗布と圧接が短時間に行えるので、繰り返し咬合調整を行うなど条件を変えてのチェックも効果的に行え、より広範囲な情報が得られます。診査後はティッシュペーパーで簡単に拭き取れます

スポンジ塗布の簡単操作

練和の必要がなく、塗布用スポンジにデンチャーフィットチェックを適量採取し、義歯粘膜面に軽く叩くように均一に塗布するだけ。適合確認したい部分だけでの使用も可能です。

■骨隆起



1. 患者口腔内

下顎の顎堤に骨隆起が確認できます。



2. 義歯床への塗布

部位が明確なので骨隆起があたると思われる部分に、デンチャーフィットチェックを多少厚めに塗布します。



3. 診査

骨隆起により義歯床が強くあたっている部位はデンチャーフィットチェックが抜けています。

■義歯の擦れ



1. 患者口腔内

下顎粘膜面に義歯の擦れによって褥瘡性潰瘍が発症しています。



2. 義歯床への塗布

義歯床面にデンチャーフィットチェックを均一に塗布します。



3. 診査

褥瘡性潰瘍があたる部分のデンチャーフィットチェックが抜けています。



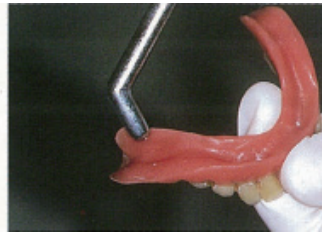


1. 口腔内粘膜面



2. 口腔内の乾燥

デンチャースポットチェックを使用する部位の唾液を取り除きよく乾燥させます。



3. 義歯の乾燥

義歯床粘膜面をシリンジでよく乾燥させます。



4. デンチャースポットチェック採取



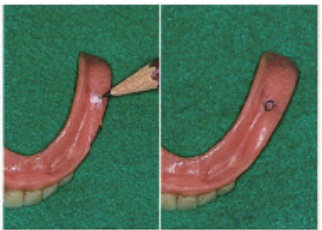
5. 潰瘍部に貼布

デンチャースポットチェックを潰瘍部に乗せるように貼付後、チェック部位を擦らないように義歯床を口腔内に装着し、軽く1回咬合させます。



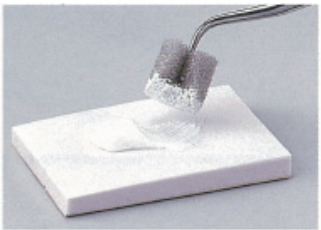
6. 義歯粘膜面に印記

義歯粘膜面にデンチャースポットチェックが印記。必要に応じて印記された部位を削合します。



7. 印記部にマーキング

調整作業を容易にするために鉛筆で印記部を囲むようにマーキングします。



8. デンチャーフィットチェック採取



9. 義歯粘膜面全体に均一に塗布

義歯粘膜面をよく乾燥させ、付属のスポンジを用いて軽く町くように薄く均一に塗布します。



10. 義歯粘膜面の診査

口腔内に圧接し軽く1回咬合させます。その後、義歯床粘膜面に抜けた擦れや接触部位の状態と先程確認された潰瘍部の位置関係が総合情報として把握できます。その後、義歯のあたりを削除・調整します。



※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。※形態図はイメージであり、実際のサイズと異なります。
※掲載の価格は、2016年7月現在のものです。※価格は希望医院価格です（価格には消費税は含まれておりません）。

ご使用に際しましては、必ず製品の添付文書をお読みください。

発売元 **株式会社 ジーシー**
東京都文京区本郷3丁目2番14号

製造販売元 **株式会社 ジーシー**
東京都板橋区蓮沼町76番1号

DIC (デンタルインフォメーションセンター) 支店
お客様窓口 ☎ 0120-416480

●東京 (03) 3813-5751 ●大阪 (06) 4790-7333

受付時間 9:00a.m. ~ 5:00p.m. (土曜日、日曜日、祭日を除く)

営業所 ●北海道 (011) 729-2130 ●名古屋 (052) 757-5722

<http://www.gcdental.co.jp>

●東北 (022) 207-3370 ●九州 (092) 441-1286